

第 398 回  
日本泌尿器科学会新潟地方会  
《プログラム・抄録》

日 時：令和 3 年 9 月 18 日（土）15 時 00 分  
会 場：パストラル長岡 5 階 末広の間  
長岡市今朝白 2 丁目 7 番 25 号  
TEL：0258-35-1305

次回 第 399 回 新潟地方会 予告  
日時：令和 3 年 12 月 11 日（土）午後 2 時  
会場：未定  
演題申込期限：令和 3 年 11 月 19 日（金曜日）

※すべて PC のみの発表とさせていただきます  
※一般口演時間は、7 分、討論 3 分（時間厳守）

日本泌尿器科学会会員証を必ずご持参下さい

〒951-8510 新潟市中央区旭町通 1-757  
新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野(泌尿器科学教室)内  
日本泌尿器科学会新潟地方会  
TEL：025 (227) 2289/FAX：025 (227) 0784  
会長 富田 善彦

## 1. 精巣原発の形質細胞腫の一例

長岡赤十字病院 泌尿器科<sup>1)</sup>佐波 達朗<sup>1)</sup>、乾 幸平<sup>1)</sup>、鈴木一也<sup>1)</sup>、米山健志<sup>1)</sup>

【症例】症例は66歳男性。無痛性左精巣腫大を主訴に、X年11月当科を受診した。造影CTで左精巣に不均一に造影される長径43mmの腫瘤を認め、腫瘍マーカーは正常であったものの、精巣腫瘍の疑いにてX+1年2月に高位精巣摘除術を施行された。病理学的に形質細胞腫と診断され、血液内科にコンサルトとなり、骨髄検査で形質細胞増加はなく、画像で他病変も認めず、孤発性髄外性形質細胞腫の診断で経過観察の方針となった。しかし、同年11月のCTで左第5肋骨の腫瘤が出現したことで、症候性多発性骨髄腫の診断となった。VRD療法・大量MEL療法(PBSCT併用)・VCD療法を施行され、その後現在までRd療法を継続されており、再発は認めていない。

形質細胞腫の多くは骨髄に発症する。4%は髄外病変として存在するが、そのうち泌尿生殖器領域に発症することは非常に稀である。泌尿生殖器領域における形質細胞腫について、文献的考察も含めて報告する。

## 2. COVID-19に感染した腎移植患者の3例の経験

新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科

中村涼太 風間明 池田正博 武田啓介 田崎正行 齋藤和英 富田善彦

当科で経験したCOVID-19に感染した腎移植患者3例の治療経過を報告する。腎移植患者は重症化リスクや死亡率が高いとされているが、いずれの症例も免疫抑制薬の減量と抗ウイルス薬、ステロイド等の投与により軽快した。泌尿器科医は免疫抑制薬の減量・調整において、呼吸器内科や集中治療医との連携が肝要であると考えた。

## 3. 膀胱原発濾胞性リンパ腫が疑われた1例

新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院 泌尿器科<sup>1)</sup>、病理診断科<sup>2)</sup>、血液内科<sup>3)</sup>、放射線診断科<sup>3)</sup>  
池田多朗<sup>1)</sup>、長谷川剛<sup>2)</sup>、関義信<sup>3)</sup>、池田洋平<sup>4)</sup>、原昇<sup>1)</sup>、西山勉<sup>1)</sup>

56歳の女性は健康診断で膀胱腫瘍を指摘され2019年12月に当院を受診した。膀胱鏡検査では、膀胱前壁から膀胱三角部、頸部および両側尿管口にかけて直径2~3cmの表面平滑な複数の腫瘍を認めた。尿細胞診はクラスIIであった。経尿道的腫瘍生検でリンパ腫が疑われた。骨髄生検では異常を認めなかった。病理学的検査では濾胞性リンパ腫が疑われた。患者はR-CVP療法4コースを受け、現在リツキシマブ維持療法を受けている。2021年8月時点で再発を認めていない。

## 4. 前立腺癌の転移が疑われた悪性リンパ腫の1例

新潟県立中央病院 泌尿器科<sup>1)</sup>、血液内科<sup>2)</sup>長谷川素<sup>1)</sup>、山口峻介<sup>1)</sup>、山崎裕幸<sup>1)</sup>、水澤隆樹<sup>1)</sup>、桃井明仁<sup>2)</sup>、片桐明善<sup>1)</sup>

当科初診時61歳男性。2014年前医にて根治的前立腺全摘除術後(pT3aN0M0, iPSA23.5, GS3+4, RM1, pn1)、PSA上昇ありADTにてPSA0.01を維持されていた。2020年、下肢痛ありCTにて右閉鎖リンパ節転移・骨盤外浸潤を指摘され当科に紹介された。PSA0.01、NSE27.4、pro-GRP47.5。化学療法は希望されず、Enzalutami de 開始も腫瘍増大あり中止。Docetaxel1コース施行後、NSE15.0と陰性化も腫瘍増大あり。腫瘍生検にて悪性リンパ腫と診断され、血液内科よりR-CHOP療法施行後、CRが維持されている。若干の文献的考察を加え報告する。

15:40~16:10

座長 山口 峻介

5. 腎移植後妊娠 9 症例の臨床的検討

新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科

村田 雅樹、田崎 正行、池田 正博、齋藤 和英、冨田 善彦

(対象と方法) 新潟大学医歯学総合病院で 2000 年以降に妊娠され、データ解析が可能であった 9 例について検討を行った。

(結果) 全例計画妊娠で出産時平均年齢は 33 歳、腎移植から分娩まで平均 6 年 5 ヶ月、帝王切開 5 名、正常分娩 4 名であった。分娩週数は 35 週、出生時の胎児体重は 2336g であり胎児奇形はなかった。妊娠中はクレアチニン値、蛋白尿ともに増悪する傾向にあったが、出産後は改善する症例が多かった。

(結論) 腎移植後妊娠患者において安全に分娩を行うことが可能であり、出産後の移植腎機能も比較的安定していた。

6. ニボルマブ・イピリムマブ併用療法による急性甲状腺炎治療中に生じたステロイド抵抗性肝障害に対し免疫抑制療法が奏功した一例

立川総合病院 泌尿器科<sup>1)</sup>、新潟県立中央病院 泌尿器科<sup>2)</sup>、立川総合病院 消化器内科<sup>3)</sup>

中山 亮<sup>1)</sup>、諏訪 通博<sup>1)</sup>、山口 峻介<sup>2)</sup>、上原 徹<sup>1)</sup>、小林 陽子<sup>3)</sup>、津端 俊介<sup>3)</sup>

症例は 76 歳女性。右腎細胞癌 cT3bN2M0 かつ右心房・右心室内塞栓の診断で、心臓内塞栓除去術を先行。3 週間後に右腎摘除術+IVC 腫瘍塞栓摘除術を施行。術後 6 か月で IVC 背側に腫瘍再発を認め、ニボルマブ、イピリムマブ併用療法 4 コース施行。再発腫瘍増大、肺転移出現を認めアキシチニブを開始。その 8 週間後に急性甲状腺炎を発症。irAE を疑いステロイドセミパルス療法を施行。速やかに改善するも、mPSL 60mg に漸減したところで肝障害が出現。ステロイド抵抗性肝障害を疑いステロイド漸減を中止したが肝機能は徐々に悪化。ステロイドセミパルス療法に反応せず、免疫抑制療法を併用し肝機能の改善を認めた。ステロイド抵抗性免疫関連肝障害は重篤化し死亡例の報告もあり、早期の免疫抑制療法が必要と思われた。

7. 精巣鞘膜中皮腫の 1 例

新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科<sup>1)</sup>、病理部<sup>2)</sup>

晝間 楓<sup>1)</sup>、石田恭平<sup>1)</sup>、星野さや香<sup>1)</sup>、信下智広<sup>1)</sup>、星井達彦<sup>1)</sup>、小原健司<sup>1)</sup>、近藤修平<sup>2)</sup>、梅津 哉<sup>2)</sup>、冨田善彦<sup>1)</sup>

症例は 22 歳男性。アスベスト歴なし。右陰嚢の無痛性腫大を自覚し、近医泌尿器科にて陰嚢水腫の診断で穿刺を施行された。超音波検査で水腫壁に多発腫瘤を認め、CT および MRI で悪性疾患を考慮され当科を紹介受診した。精巣腫瘍マーカーはいずれも陰性であった。高位精巣摘除術を施行し、中皮腫と診断された。内容液の細胞診はクラス 2 であった。術後 3 か月時点の CT では明らかな再発なく経過している。

《休憩 16:10~16:50》

地方会終了後、16:50 より主催セミナーが予定されています。

# 研究会参加者健康チェック票

研究会名：第398回日本泌尿器科学会新潟地方会

日 時：2021年9月18日（土） 15:00～

所 属：\_\_\_\_\_

氏 名：\_\_\_\_\_

自宅電話番号：\_\_\_\_\_

チェック日	体温 (°C)	症 状※									
		朝	咳	のどの 痛み	鼻水・ 鼻詰り	頭痛	下痢・ 腹痛	強い だるさ	息苦しさ	その他	左記 すべて無
1日目	9月5日										
2日目	9月6日										
3日目	9月7日										
4日目	9月8日										
5日目	9月9日										
6日目	9月10日										
7日目	9月11日										
8日目	9月12日										
9日目	9月13日										
10日目	9月14日										
11日目	9月15日										
12日目	9月16日										
13日目	9月17日										
14日目	9月18日										

自ら行った対処{ \_\_\_\_\_ }

(例) ○月○日医療機関を受診した, ○月○日に保健所に連絡した, ○月○日市販薬を内服した, などを

※ 症状の各項目に, ある場合は○, すべて該当しない場合には「左記すべて無」に○を付けてください.

# 第398回日本泌尿器科学会新潟地方会 サテライトセミナー

日 時：2021年9月18日（土） 16:50～17:50

場 所：パストラル長岡 5階 『未広の間』（Web配信）

住 所：長岡市今朝白2丁目7番25号

TEL：0258-35-1305

## 【特別講演】

座長 新潟大学特命理事 医歯学総合病院長（泌尿器科教授）

富田 善彦 先生

## 腎細胞癌に対する治療 ～基礎から臨床へ～

演者 神奈川県立がんセンター

副院長 岸田 健 先生

---

※COVID-19感染症拡大防止の観点から飲食の提供を控えさせていただく予定です

共催 日本泌尿器科学会新潟地方会

武田薬品工業株式会社